

# 茨城県企業のメインバンク、 「常陽銀行」が 46.56%でシェアトップ

『卸売』は常陽銀行のシェアが 5 割超え  
売上規模「50 億円以上」では都市銀行も上位に

## 茨城県・「メインバンク」動向調査(2025 年)



本件照会先

国分 信一郎（調査担当）  
帝国データバンク  
水戸支店  
TEL 029-221-3717  
FAX 029-232-0272

発表日

2026/01/30

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

## SUMMARY

茨城県内の 2025 年メインバンク調査では、「常陽銀行」が 1 万 3672 社(シェア 46.56%)でトップとなり、2 位以下を大きく引き離して圧倒的な存在感を示した。上位 5 位までにはすべて地元金融機関が名を連ね、合計シェアは 86%を超えた。  
すべての業種で「常陽銀行」がトップ、さらに売上規模別においても、すべての規模でトップとなった。一方、売上規模が大きくなるにつれて、メガバンクが上位にランクインする傾向もみられた。

帝国データバンク水戸支店では、2025 年 10 月末時点の企業概要データベース「COSMOS2」(全国約 150 万社、茨城県内企業約 2 万 9000 社収録、特殊法人・個人事業主含む)をもとに、県内企業が「メインバンク」と認識する金融機関を分析した。一企業に複数のメインがあるケースでは、各企業が最上位として認識している金融機関をメインバンクとした。

本調査は帝国データバンクが独自に調査・保有する企業概要データベース「COSMOS2」に収録された企業データであるため、各金融機関がメインとして認識する実数と異なる場合がある。

# 茨城県・メインバンクランキング 2025

## トップは「常陽銀行」の 1 万 3672 社、17 年連続首位

2025 年の茨城県メインバンク社数トップは「常陽銀行」となった。企業数は1万 3672 社となり、2009 年の調査開始以降 17 年連続のトップとなった。しかし、社数は前年から 23 社増加したものの、シェアでは 46.56%と 0.65 ポイント低下し、2 年連続のシェア縮小となった。

2 位は「筑波銀行」の 5367 社(シェア 18.28%)で、前年からシェアは 0.45 ポイント低下、社数では 48 社減少した。3 位の「茨城県信組」(3088 社)も、シェア(10.52%)で 0.23 ポイント、社数では 20 社減少した。4 位の「水戸信金」(2216 社)は社数が前年から 13 社増加するも、シェア(7.55%)は 0.07 ポイント減少、5 位の「結城信金」(1062 社)は社数(5 社減)、シェア(3.62%、0.07 ポイント減)ともに前年を下回った。

いずれも県内の地銀、信組、信金といった上位 5 金融機関に続き、6 位になったのは「常陽銀行」と同じ「めぶきフィナンシャルグループ」に属する「足利銀行」(427 社、シェア 1.45%)だった。

前年からの増加社数(純増)をみると、最多は「常陽銀行」が 23 社増となり、最も多かった。次いで、「水戸信金」が 13 社増、「千葉銀行」が 5 社増で続いた。

メインバンクランキング(上位 20 位)

2025年						2024年				
順位	取引銀行名	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比	順位	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	常陽	13,672	+23	46.56%	▲ 0.65	1	13,649	▲ 42	47.21%	▲ 0.69
2	筑波	5,367	▲ 48	18.28%	▲ 0.45	2	5,415	+48	18.73%	▲ 0.05
3	茨城県信組	3,088	▲ 20	10.52%	▲ 0.23	3	3,108	+27	10.75%	▲ 0.03
4	水戸信金	2,216	+13	7.55%	▲ 0.07	4	2,203	+1	7.62%	▲ 0.08
5	結城信金	1,062	▲ 5	3.62%	▲ 0.07	5	1,067	▲ 1	3.69%	▲ 0.05
6	足利	427	▲ 12	1.45%	▲ 0.07	6	439	▲ 11	1.52%	▲ 0.05
7	東日本	370	▲ 16	1.26%	▲ 0.08	7	386	▲ 49	1.34%	▲ 0.18
8	三井住友	277	±0	0.94%	▲ 0.02	8	277	+1	0.96%	▲ 0.01
9	三菱UFJ	268	▲ 1	0.91%	▲ 0.02	10	269	+8	0.93%	+0.02
10	みずほ	267	▲ 3	0.91%	▲ 0.02	9	270	+3	0.93%	±0.00
11	千葉	239	+5	0.81%	±0.00	11	234	+6	0.81%	+0.01
12	銚子信金	185	+2	0.63%	±0.00	12	183	+3	0.63%	±0.00
13	佐原信金	134	±0	0.46%	±0.00	13	134	+8	0.46%	+0.02
14	武蔵野	87	▲ 5	0.30%	▲ 0.02	14	92	+1	0.32%	±0.00
15	栃木	63	±0	0.21%	▲ 0.01	15	63	+1	0.22%	±0.00
16	東邦	61	+1	0.21%	±0.00	17	60	+2	0.21%	+0.01
17	りそな	58	▲ 3	0.20%	▲ 0.01	16	61	+2	0.21%	±0.00
18	埼玉りそな	55	+2	0.19%	+0.01	18	53	±0	0.18%	▲ 0.01
19	商工中金	50	±0	0.17%	±0.00	19	50	+3	0.17%	+0.01
20	京葉	31	+1	0.11%	+0.01	20	30	+2	0.10%	±0.00

## 全業種で「常陽銀行」がトップ、『卸売』ではシェア 50%超え

業種別にみると、すべての業種で「常陽銀行」が前年に続きトップとなった。なかでも『卸売』における同銀行のシェアは 50%を超え、2 社に 1 社以上がメインバンクとして選択しており、圧倒的な強さが際立っている。なお、順位に若干の違いはみられるものの、県内 5 金融機関が上位を占める構図に変化はなかった。

### メインバンクランキング(業種別)

#### 建設

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	常陽	4,539	▲ 49	46.21%	▲ 0.01
2	筑波	1,998	▲ 24	20.34%	▲ 0.03
3	茨城県信組	1,271	▲ 15	12.94%	▲ 0.02
4	水戸信金	905	+8	9.21%	+0.17
5	結城信金	398	▲ 9	4.05%	▲ 0.05
6	足利	118	▲ 2	1.20%	▲ 0.01
7	東日本	100	▲ 8	1.02%	▲ 0.07
8	銚子信金	88	▲ 2	0.90%	▲ 0.01
9	千葉	72	▲ 1	0.73%	▲ 0.01
10	武蔵野	56	▲ 2	0.57%	▲ 0.01

#### 製造

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	常陽	1,479	▲ 28	47.06%	▲ 0.09
2	筑波	588	▲ 12	18.71%	▲ 0.06
3	茨城県信組	242	▲ 3	7.70%	+0.03
4	結城信金	152	▲ 5	4.84%	▲ 0.07
5	水戸信金	136	±0	4.33%	+0.07
6	三菱UFJ	78	±0	2.48%	+0.04
7	足利	72	+3	2.29%	+0.13
8	みずほ	60	▲ 4	1.91%	▲ 0.09
9	三井住友	59	+1	1.88%	+0.07
10	東日本	57	±0	1.81%	+0.03

#### 卸売

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	常陽	1,324	▲ 9	50.09%	▲ 0.06
2	筑波	448	±0	16.95%	+0.10
3	茨城県信組	238	▲ 2	9.00%	▲ 0.03
4	水戸信金	141	+1	5.33%	+0.06
5	結城信金	87	▲ 1	3.29%	▲ 0.02
6	足利	70	▲ 3	2.65%	▲ 0.10
7	三井住友	55	+1	2.08%	+0.05
8	三菱UFJ	50	▲ 2	1.89%	▲ 0.07
9	みずほ	40	±0	1.51%	+0.01
10	千葉	38	+2	1.44%	+0.09

#### 小売

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	常陽	1,516	▲ 41	44.81%	▲ 0.02
2	筑波	690	▲ 13	20.40%	+0.16
3	茨城県信組	430	▲ 20	12.71%	▲ 0.25
4	水戸信金	297	▲ 9	8.78%	▲ 0.03
5	結城信金	129	+1	3.81%	+0.12
6	足利	59	▲ 6	1.74%	▲ 0.13
7	東日本	51	▲ 3	1.51%	▲ 0.04
8	三菱UFJ	29	+3	0.86%	+0.11
9	千葉	21	▲ 2	0.62%	▲ 0.04
10	銚子信金	20	±0	0.59%	+0.01

#### 運輸・通信

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	常陽	479	▲ 16	37.31%	▲ 1.06
2	筑波	271	+3	21.11%	+0.33
3	茨城県信組	181	+5	14.10%	+0.46
4	水戸信金	101	±0	7.87%	+0.04
5	結城信金	84	+2	6.54%	+0.18
6	東日本	23	▲ 1	1.79%	▲ 0.07
6	足利	23	▲ 2	1.79%	▲ 0.15
8	三井住友	15	▲ 1	1.17%	▲ 0.07
9	みずほ	14	±0	1.09%	±0.00
10	千葉	11	+2	0.86%	+0.16

#### サービス

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	常陽	3,310	+152	47.85%	▲ 2.97
2	筑波	1,038	+3	15.00%	▲ 1.66
3	茨城県信組	491	+14	7.10%	▲ 0.58
4	水戸信金	460	+11	6.65%	▲ 0.58
5	結城信金	155	+2	2.24%	▲ 0.22
6	みずほ	82	+2	1.19%	▲ 0.10
7	三井住友	77	+2	1.11%	▲ 0.10
8	東日本	66	▲ 2	0.95%	▲ 0.14
9	足利	60	+2	0.87%	▲ 0.06
9	三菱UFJ	60	▲ 2	0.87%	▲ 0.13

#### 不動産

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	常陽	615	+3	46.45%	+0.09
2	筑波	216	▲ 1	16.31%	▲ 0.13
3	茨城県信組	178	+3	13.44%	+0.18
4	水戸信金	125	▲ 1	9.44%	▲ 0.11
5	結城信金	33	+2	2.49%	+0.14
6	東日本	27	+1	2.04%	+0.07
6	千葉	27	▲ 1	2.04%	▲ 0.08
8	足利	21	▲ 2	1.59%	▲ 0.15
9	三井住友	16	▲ 1	1.21%	▲ 0.08
10	三菱UFJ	13	+1	0.98%	+0.07

#### その他

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	常陽	410	+11	48.29%	+0.33
2	筑波	118	▲ 4	13.90%	▲ 0.76
3	茨城県信組	57	▲ 2	6.71%	▲ 0.38
4	水戸信金	51	+3	6.01%	+0.24
5	結城信金	24	+3	2.83%	+0.31
6	三井住友	11	±0	1.30%	▲ 0.02
7	佐原信金	10	▲ 1	1.18%	▲ 0.14
7	みずほ	10	▲ 1	1.18%	▲ 0.14
9	東日本	9	+1	1.06%	+0.10
9	三菱UFJ	9	±0	1.06%	▲ 0.02

## 「常陽銀行」がすべての売上規模でトップ、5 割超のレンジも

売上規模別にみると、「5000 万円未満」「5000 万円～1 億円未満」「1 億円～5 億円未満」「5 億円～10 億円未満」「10 億円～50 億円未満」「50 億円以上」のすべてで「常陽銀行」がトップとなった。小規模企業から中堅・大企業に至るまで幅広い層で高い支持を得ており、「常陽銀行」が強固な地位を確立していることがうかがえる。とりわけ、中堅企業に該当する「5 億円～10 億円未満」「10 億円～50 億円未満」では、いずれもシェアが 5 割を超え、存在感が際立つ結果となった。中堅企業は、地域金融機関にとって安定した取引基盤を形成しやすい重要な顧客層であり、ここで圧倒的な支持を得ている点は、「常陽銀行」の地域に根ざした営業体制や企業支援姿勢が評価されている裏付けといえる。一方、売上規模が 10 億円を超える層に目を向けると、都市銀行の存在感が徐々に高まる傾向がみられる。特に「50 億円以上」のレンジでは、「三菱 UFJ 銀行」が 2 位、「三井住友銀行」が 4 位、「みずほ銀行」が 5 位にランクインしており、大企業層で一定の支持を得ていることがうかがえる。規模が大きくなるにつれて、企業が求める金融サービスの高度化や広域ネットワークの必要性が増すことから、この層で都市銀行が選ばれるのは自然な流れといえる。

### メインバンクランキング(売上規模別)

#### 売上高 5000 万円未満

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	常陽	5,206	▲ 35	44.90%	▲ 0.56
2	筑波	2,121	▲ 70	18.29%	▲ 0.71
3	茨城県信組	1,358	▲ 43	11.71%	▲ 0.44
4	水戸信金	1,004	+17	8.66%	+0.10
5	結城信金	460	▲ 23	3.97%	▲ 0.22
6	東日本	156	▲ 3	1.35%	▲ 0.03
7	足利	145	▲ 8	1.25%	▲ 0.08
8	三井住友	95	▲ 2	0.82%	▲ 0.02
9	みずほ	75	±0	0.65%	±0.00
10	佐原信金	71	±0	0.61%	▲ 0.01

#### 売上高 5000 万円～1 億円未満

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	常陽	2,346	▲ 51	44.32%	▲ 1.31
2	筑波	1,060	+2	20.03%	▲ 0.11
3	茨城県信組	633	▲ 4	11.96%	▲ 0.17
4	水戸信金	444	±0	8.39%	▲ 0.06
5	結城信金	226	+12	4.27%	+0.20
6	足利	71	+1	1.34%	+0.01
7	東日本	60	▲ 9	1.13%	▲ 0.18
8	銚子信金	49	+6	0.93%	+0.11
9	みずほ	36	+1	0.68%	+0.01
10	三菱UFJ	33	+6	0.62%	+0.11

#### 売上高 1～5 億円未満

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	常陽	4,196	+16	47.98%	▲ 0.95
2	筑波	1,620	+12	18.52%	▲ 0.30
3	茨城県信組	921	+18	10.53%	▲ 0.04
4	水戸信金	624	▲ 5	7.13%	▲ 0.23
5	結城信金	302	▲ 2	3.45%	▲ 0.11
6	足利	133	▲ 10	1.52%	▲ 0.15
7	東日本	110	▲ 8	1.26%	▲ 0.12
8	千葉	88	+5	1.01%	+0.04
9	三井住友	66	+3	0.75%	+0.01
10	銚子信金	65	▲ 3	0.74%	▲ 0.06

#### 売上高 5～10 億円未満

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	常陽	869	+46	51.94%	▲ 0.28
2	筑波	305	+4	18.23%	▲ 0.87
3	茨城県信組	104	+4	6.22%	▲ 0.13
4	水戸信金	82	+3	4.90%	▲ 0.11
5	足利	41	+5	2.45%	+0.17
6	結城信金	38	+4	2.27%	+0.11
7	東日本	28	+2	1.67%	+0.02
8	三菱UFJ	27	±0	1.61%	▲ 0.10
9	みずほ	26	+7	1.55%	+0.34
10	千葉	24	+1	1.43%	▲ 0.03

#### 売上高 10～50 億円未満

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	常陽	807	+28	54.86%	+0.04
2	筑波	219	+7	14.89%	▲ 0.03
3	茨城県信組	58	+1	3.94%	▲ 0.07
4	水戸信金	47	+2	3.20%	+0.03
5	みずほ	44	▲ 7	2.99%	▲ 0.60
6	三菱UFJ	41	+5	2.79%	+0.26
7	三井住友	36	±0	2.45%	▲ 0.08
8	千葉	35	▲ 1	2.38%	▲ 0.15
9	結城信金	34	+4	2.31%	+0.20
9	足利	34	+3	2.31%	+0.13

#### 売上高 50 億円以上

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	常陽	196	+4	48.16%	+0.52
2	三菱UFJ	35	▲ 4	8.60%	▲ 1.08
3	筑波	30	+1	7.37%	+0.17
4	三井住友	24	+2	5.90%	+0.44
5	みずほ	23	+2	5.65%	+0.44
6	茨城県信連	11	+1	2.70%	+0.22
7	水戸信金	6	▲ 1	1.47%	▲ 0.27
8	千葉	4	▲ 1	0.98%	▲ 0.26
9	茨城県信組	3	+1	0.74%	+0.24
9	商工中金	3	▲ 2	0.74%	▲ 0.50

## メインバンクの選考条件は「低金利」以外に拡大 地域金融機関に求められる「顧客評価力」と「伴走力」

日本銀行が2024年3月に政策金利の引き上げを表明して以降、企業の借り換えや新規融資の場面では、金融機関が利上げ交渉を活発化させている。長く続いた超低金利環境からの転換により、地域金融機関も本格的に「金利のある世界」への適応を迫られている。

実際、帝国データバンクが全国約103万社・850万期分の決算書を分析したところ、2024年度決算における平均借入金利は1.20%と、前年から0.16ポイント上昇し、大幅な引き上げとなった。こうした環境変化を受け、コロナ禍以前までみられた、超低金利での貸出によるシェア拡大競争からの決別が進んでいる。

一方、企業の資金調達における金融機関の選択にも変化がみられる。近年では、口座維持コストの低さや迅速な融資判断を強みにシェアを拡大しているネット銀行など、新興勢力の存在感が高まりつつある。創業間もないスタートアップや、事業承継した若手経営者など、敏捷性を重視する企業では、従来の金利条件よりも「対応の質」「スピード」が選重視される傾向が強まっている。また、借入を必要としない小規模企業では、特定のメインバンクを持たないケースも増えつつある。

こうした動きは現時点では都市部で顕著だが、今後は地方でも同様の傾向が広がることが予想される。特に、茨城県は県南地域を中心に多くの法人が新たに設立されており、このような新設企業が重視する金融機関の選定基準が多様化する可能性は大きい。

地域金融機関は、これまで預金を基盤に安定した貸出を行い、利ザヤを確保する従来型のビジネスモデルを維持してきた。しかし、ネット銀行をはじめとする新興勢力は、手続きの簡便性やスピードで強みを発揮しており、地域金融機関にとって徐々に競争相手としての脅威が増してくるだろう。

2026年には「企業価値担保権」を活用した新たな融資制度も始まり、地域金融機関には、長年取り組んできた事業性評価の総合力がこれまで以上に問われる局面が訪れる。茨城県内でも、製造業の技術力、農業のブランド化、研究学園都市を中心とした技術系企業の集積など、評価すべき知的資産を有する企業は多い。これらを正しく見極められるかは、地域金融機関の重要な競争力となる。

さらに、店舗統廃合を進めてきた金融機関の間では、コンサルティング特化型の新店舗開設や、地域密着機能の再強化を図る動きも広がりつつある。茨城県は広い県土に産業が分散しているため、地域ごとに密着した営業体制の価値は依然として高い。

今後、メインバンクとして企業を支える地域金融機関には、金利競争だけではなく、技術やビジネスモデルの評価力、販路開拓支援、人材育成、デジタル活用支援など、企業の成長に寄り添う「伴走型支援」がどこまで提供できるかが問われる。茨城県に根ざす金融機関が、地域企業にとっての「良きパートナー」としての存在感をどう示していくのか、その動向がこれまで以上に注目される。

## (参考)都道府県別メインバンク トップシェア行

2025 年調査時点

都道府県	金融機関	メイン社数	シェア	シェア 前年比	都道府県	金融機関	メイン社数	シェア	シェア 前年比
北海道	北洋	23,804	34.44%	△ 0.31	京都府	京都	9,729	31.34%	△ 0.23
青森県	青森みちのく	12,416	70.76%	－	大阪府	三井住友	17,532	15.92%	△ 0.46
岩手県	岩手	6,097	42.77%	△ 0.41	兵庫県	三井住友	9,848	18.32%	△ 0.45
宮城県	七十七	13,964	55.46%	△ 0.46	奈良県	南都	8,101	59.40%	△ 0.83
秋田県	秋田	6,179	52.89%	+ 0.04	和歌山県	紀陽	7,858	62.72%	△ 0.60
山形県	山形	5,555	34.18%	△ 0.21	鳥取県	山陰合同	3,654	48.65%	+ 0.06
福島県	東邦	9,077	39.50%	△ 0.75	島根県	山陰合同	5,699	61.80%	△ 0.37
茨城県	常陽	13,672	46.56%	△ 0.65	岡山県	中国	10,961	45.58%	△ 0.62
栃木県	足利	9,936	45.09%	△ 0.83	広島県	広島	14,124	37.00%	△ 0.35
群馬県	群馬	12,126	44.45%	△ 0.84	山口県	山口	10,099	59.16%	△ 0.29
埼玉県	埼玉りそな	17,226	26.66%	△ 0.40	徳島県	阿波	6,440	57.32%	△ 0.27
千葉県	千葉	20,333	38.94%	△ 0.68	香川県	百十四	6,941	43.78%	△ 1.36
東京都	三菱 U F J	40,324	20.10%	△ 0.48	愛媛県	伊予	11,350	58.41%	△ 0.93
神奈川県	横浜	15,291	19.69%	△ 0.44	高知県	四国	4,806	50.76%	+ 0.31
新潟県	第四北越	17,378	56.09%	△ 0.35	福岡県	福岡	21,651	34.60%	△ 0.66
富山県	北陸	7,691	46.96%	△ 0.25	佐賀県	佐賀	6,316	52.22%	△ 0.34
石川県	北國	8,649	52.73%	△ 0.19	長崎県	十八親和	13,086	83.27%	△ 0.79
福井県	福井	6,765	46.56%	+ 0.22	熊本県	肥後	12,591	57.25%	△ 0.84
山梨県	山梨中央	6,803	53.24%	△ 0.33	大分県	大分	8,205	50.52%	△ 0.40
長野県	八十二	13,835	53.34%	△ 0.13	宮崎県	宮崎	9,766	61.26%	+ 0.43
岐阜県	十六	6,857	29.67%	△ 0.78	鹿児島県	鹿児島	9,309	50.78%	△ 0.67
静岡県	静岡	15,525	35.48%	△ 0.72	沖縄県	琉球	7,295	41.72%	△ 0.29
愛知県	三菱 U F J	14,537	18.88%	△ 0.53					
三重県	百五	10,278	44.79%	△ 0.34					
滋賀県	滋賀	8,150	57.28%	△ 1.03					